

(2)

日本の家庭では、父親は外で仕事をし、家事^(※1)や子育てなど家の中での仕事は母親の仕事とされることが多かった。しかし、最近は、結婚後も仕事を持つ女性が増え、男性のほうでも、家事や子育てをしたいと思う人が増えているようだ。2009年の調査で、0歳から6歳までの子どもを持つ男性に聞いたところ、「家事や子育てをもっとしたい」という人は、54%もいた。子どもが成長する姿^{すがた}をもっと見たい、と思う男性が多いようだ。

しかし、そうは言っても、実際には、家事や子育てのほとんどは女性がしている。2011年に、20歳から39歳までの妻に「夫と妻がそれぞれ家事や子育てにかかる時間の比率^{ひりつ}^(※2)はどれくらいですか」という質問をしたところ、最も多かったのは、「妻：夫＝9：1」(29%)と「妻：夫＝8：2」(24%)という回答だった。

これでは、女性は、安心して働くことができない。男性からは、「家事や子育てをしたいと思っても、会社が忙しくてできない^{いそが}」という声もあがっている。男性がもっと家の中での仕事ができるよう、国や会社は考えてほしいものだ。

(※1) 家事：料理、掃除、洗濯^{そうじ せんたく}など、毎日の生活に必要な家での仕事

(※2) 比率：割合

31 この文章では、日本では最近、どのように考える男性が増えている、と言っているか。

- 1 夫は外で仕事をして、妻は家事や子育てをするのがよい。
- 2 会社が忙しいので、家事や子育ては妻にしてほしい。
- 3 妻には家事だけでなく、外での仕事もしてほしい。
- 4 会社の仕事だけでなく、家事や子育てもしたい。

32 この文章では、最近の日本の妻について、どう言っているか。

- 1 外で仕事をしながら、ほとんどの家事や子育てをしている。
- 2 外で仕事をしているので、家事や子育ては、半分夫にしてもらう。
- 3 外での仕事はやめて、家事や子育てを一人でしている。
- 4 外での仕事はやめるが、家事や子育ては、半分夫にしてもらう。

33 この文章を書いた人が最も言いたいことは、どれか。

- 1 夫が安心して仕事ができるように、妻の勤める会社は、女性の給料を増やしてほしい。
- 2 妻が安心して子育てができるように、夫の勤める会社は、男性の給料を増やしてほしい。
- 3 夫が安心して仕事ができるように、妻の勤める会社は、女性に子育ての時間を与えてほしい。
- 4 女性が安心して仕事ができるように、夫の勤める会社は、男性に子育ての時間を与えてほしい。